

体育科学習指導案

令和6年6月14日(金)

学習指導Ⅲ

第1学年1組(体育館)

授業者 石塚 祐子

高橋 星音

【単元】ボールけりゲーム(E ゲーム ア ボールゲーム)

考察	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
育成を目指す資質能力	ボールけりゲームの行い方についての知識や、ボールを力強く蹴ったり、ボールを捕ったりする基本的なボール操作、守りのいない場所をねらって蹴る技能	ボールけりゲームにおける攻め方を選ぶ力、考えたことを仲間に伝える力	ボールけりゲームに進んで取り組むとともに、規則を守り誰とでも仲よく運動したり、勝敗を受け入れたりすること
子どもの実態	- 遊びの中で、ボールを蹴ったり、捕ったりすることは、経験している。 - ボールを蹴る遊びは、攻守入り交じって行われることが多く、触球回数に差があるため、力強く蹴る動きやねらって蹴る動きで得点をすることができない子どもがいる。	- 固定施設を使って、いろいろな姿勢をとったり、登り下りをしたりするなど、楽しくできる場や遊び方を選ぶことができる。 - 自分の動きに満足して、仲間の動きから、楽しくできる登り方やぶら下がり方などの遊び方を見付けることや自分が考えた楽しくできる場を仲間に伝える必要感をもっていない子どもがいる。	- 順番や規則を守り、進んで運動に取り組む、仲間と仲よく運動ができる。 - 勝敗のある遊びの中で、自分やグループの勝敗を素直に受け入れられず、楽しむことができない子どもがいる。
価値	・ボールけりゲームは、ボールを力強く蹴って遠くにボールを飛ばしたり、蹴った後に全力で走ったりして得点をすることに面白さがある。また、攻めと守りを交代しながら、ボールを蹴るというベースボール型に発展するボールけりゲームにすることで、守りのいない場所にボールを蹴って走塁したり、2人の位置を変えて蹴ったボールの方向を予測したりして、攻防する楽しさがある。本単元では、守りを2人とし、1人1回攻撃する。守りを少人数にすることで、守りのいない範囲が広がり、蹴る方向を選択でき、得点しやすくなる。また、コーンを用いて塁を直線上に設け、遠くへ走塁するほど高得点とすることで、遠くにボールを蹴ることや守りのいない場所をねらうことに、必要感をもつことができる。守りは、ボールを保持した場所で2人が揃ってボールを上を持ち上げることでアウトとする。相手の蹴る動きからボールの方向を予想したり、始めの守りの位置を変えて、相手のボールを蹴る方向を制限させたりしてゲームをすることができる。そのため、守りのいない場所をねらったり、得点を与えないように守りの位置を工夫したりして攻防するベースボール型の特性に着目しながら、ボールけりゲームの楽しさや喜びを味わうことができる。 ・ボールゲームにおける蹴る学習を初めて行う1年生にとって、ねらう場所が広範囲となっていることや攻守が分かれていることは、ボール保持を邪魔されず、ボールをねらって力強く蹴る技能を身に付けることができる。	・ボールけりゲームは、守りのいない場所をねらってボールを蹴って得点をしたり、得点をされない守りの位置を決めたりすることが欠かせない。そのため、仲間の動きから、攻め方や守り方を見付け、解決策を仲間に伝えることができる。	・クライマックスイベントとして、ボールけりゲーム大会を行うことは、チームの所属意識を高め、仲間の動きに興味をもつことができ、勝敗を受け入れることの大切さに触れられ、誰とでも仲よく学習することができる。
見方・考え方	ボールけりゲームにおけるボールを力強く蹴ったり、守りのいない場所に蹴ったりする動きに着目し、プレイしたりプレイを見て考えたことを伝えたり、目標とする動きから動きのポイントを見いだしたりする。		
今後の学習	3年「ならびっこベースボール」で、守りのいない場所にボールを打ったり、ベースに向かって全力でかけ抜けたり、ボールの正面に移動してボールを捕ったりしながら攻防する学習へと発展していく。		

指導と評価の計画

目標	みんなで励まし合い、動きのポイントを見付けて、ボールを力強く蹴ったり、守りがいない場所をねらって蹴ったりして、ボールけりゲームを楽しむことができる。		
評価 規準	(①知・技) ボールを力強く蹴ったり、守りがいない場所をねらってボールを蹴ったりするボールけりゲームの行い方を知り、その動きができる。 (②思・判・表) ボールを力強く蹴ったり、守りがいない場所をねらってボールを蹴ったりする動きのポイントを見付けたり、友達のよい動きを見付けたり、課題の解決のために考えたことを伝えたりしている。 (③主体的態度) 規則を守り、勝敗を素直に認めながら、誰とでも仲よくボールけりゲームに進んで取り組もうとしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
つか む	2	○試しのボールけりゲームを行い、共通のめあてを立てる。 共通のめあて ねらって力強く蹴る動きや守りの動きのポイントを見付けて、たくさん得点して、ボールけりゲームを楽しもう	○ボールけりゲームの中で取り組んでいく動きや学び方の見通しがもてるように、「ボールけりゲームの楽しさ」「できるようになりたいこと」「学び方」の視点を提示する。
追 究 す る	1	○ボールを力強く蹴る動きのポイントを見付けて、ゲームに取り組む。	○ボールを力強く蹴る動きのポイントに気付けるように、目標とする動きと「足の出し方」という視点を提示する。
	1	○コートはどこをねらうかについて考え、ゲームに取り組む。	○守りがいない場所をねらってボールを蹴る動きのできばえを自覚できるように、教師が撮影した動画を基に、動きを評価・判断する機会を設定する。
	1	○ねらってボールを蹴る動きのポイントを見付けて、ゲームに取り組む。 (本時)	○ねらってボールを蹴る動きのポイントに気付けるように、目標とする動きと「体の向き」「蹴らない足の向き」という視点を提示する。
	1	○守りの位置のポイントを見付けて、ゲームに取り組む。	○守りの位置のポイントに気付けるように、「2人の立つ位置」という視点を基に、話し合う機会を設ける。
ま と め る	1	○ボールけりゲーム大会を行い、互いの頑張りを認め合い、学習のまとめをする。	○学習の成果を実感できるように、「できるようになった動き」「仲間との関わり」という振り返りの視点を提示する。 ◇ボールけりゲームの自分や友達の頑張りや仲間のよさについて記述している。 <学習プリント③>

評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」

◇試しのボールけりゲームに取り組んで得た感想を基に、視点に沿った内容を発言している。
<発言③>

◇蹴る足と反対の足をボールの横に置いて蹴っている。
<行動①>

◇守りのいない場所を見付け、伝えている。
<行動②>

◇守りのいない場所に体と軸足の足先を向けている。
<行動①>

◇仲間に守りの位置を伝えている。
<行動②>

◇ボールけりゲームの自分や友達の頑張りや仲間のよさについて記述している。
<学習プリント③>

本時の学習（５／７時間目）

ね ら い 守りのいない場所にボールを蹴ることについて考えた解決策を基に、繰り返し練習することを通して、体と軸足の足先を守りのいない場所に向けてボールを蹴ることができる。

評価項目 守りのいない場所に体と軸足の足先を向けている。

<行動①>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
１ 本時のめあてをつかむ。 ・ 守りのいない場所にボールが飛ぶと、たくさん得点できるね。守りのいない場所をねらってボールを蹴りたいけど、どうすればよいのだろう。（課題意識）	○前時の課題となっていた姿から本時の課題を見いだせるように、前時に撮影した守りのいない場所に体と軸足の足先を向けていない動画を提示し、ねらいたい場所と予想されるボールの飛球方向を問いかける。 ○守りのいない場所に蹴る動きについて考え、課題を解決するという見通しがもてるように、本時できるようになりたいことを問いかける。
めあて：守りのいない場所をねらってボールを蹴るポイントを見付けて、ボールけりゲームを楽しもう	
２ 守りのいない場所をねらって蹴る動きのポイントを見付ける。 ・「体の向き」「蹴らない足の向き」に注目して動画を観たら、体と蹴らない足の足先、蹴った後のボールの方向が同じだったな。 ・守りのいない場所に体と蹴らない足の足先を向けて蹴ると、うまく蹴ることができそうだな。	○守りのいない場所をねらって蹴る動きのポイントに気付けるように、目標とする動きの動画を視聴する際に「体の向き」「蹴らない足の向き」という視点を提示して、体と軸足の足先が向いている方向に矢印を書き込む。 ○見付けた動きのポイントを実際の動きと関連付けられるように、体と軸足の足先を守りのいない場所に向けて蹴る動きを例示する。
３ 見付けた動きのポイントを基に、タスクゲームを行う。 ・守りのいない場所に体を向けて蹴ったけど、うまく蹴れないな。 ・動画を見ると、一歩踏み出したときに、蹴らない足の足先が守りのいない場所に向いていないな。 ・「ねらう場所を蹴る前に決めておくといいよ。守りのいない場所を教えるね」と友達がアドバイスしてくれたよ。	○守りのいない場所に蹴る動きに対する解決策を見いだせるように、撮影した動画を提示し、体と軸足の足先の向きについて問いかける。 ○見付けた動きのポイントを基に、仲間の体と軸足の足先を守りのいない場所に向けて蹴る動きの変化や高まりに気付けるように、タスクゲームで、観察する人の役割を設定し、体と軸足の足先の向きについて仲間に伝えるよう促す。
４ メインゲームを行う。 ・ 蹴る前に体を守りのいない場所に向けて、踏み出しながら蹴らない足の足先を守りのいない場所に向けることが大切だな。これを生かしてゲームをしたら、守りのいない場所にボールを蹴って得点できたよ。（課題を解決した意識）	○守りのいない場所に蹴る動きについて自信がもてるように、体と軸足の足先の向きが守りのいない場所に向けて蹴っている子どもを称賛する。 ○仲間の守りのいない場所に蹴る動きの変化や高まりを認められるように、直前に取り組んだ動きと比較するよう促す。
５ 本時の学習の振り返りをする。 ・守りのいない場所に体と蹴らない足の足先を向けて蹴れるようになったら、たくさん得点できて楽しかったな。	○本時の学習の成果を実感できるように、「できるようになった動き」という視点を提示して、本時の振り返りを発表するよう促す。